令和６年２月９日

野沢温泉小学校保護者の皆様

野沢温泉小学校長　市村一彦

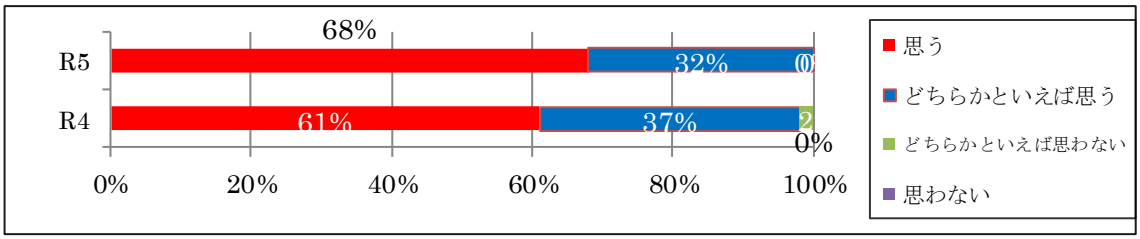
令和５年度　学園・学校評価のまとめについて

大寒の候　保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より学校の教育活動につきましてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

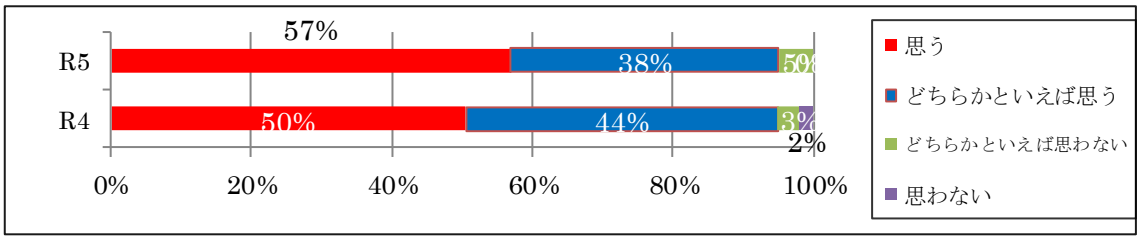
2学期末にご協力いただいた学園･学校評価アンケートのまとめについて項目ごとに結果と考察をお伝えします。いただいたご意見を深く受け止め、今後の本校、本学園の教育に活かして参ります。

学園評価アンケート【保護者】

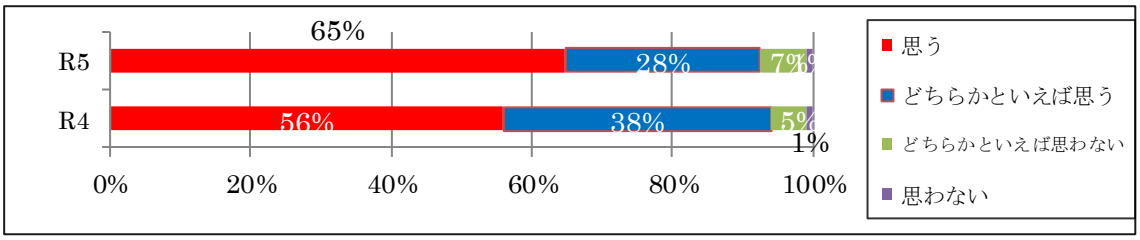
1「ふるさと学習」で、地域の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、子どもたちは、地域のよさを実感していると思いますか。【回答総数 105】



2「英語学習」は、子どもたちにとって、外国の文化や言語に親しみ、コミュニケーションの姿勢を育てる学習になっていると思いますか。【回答総数 104】



3学校のスキー授業を通して、子どもたちはスキーを楽しむとともに、スキー技能やゲレンデマナーの素地を学んでいると思いますか。【回答総数 105】



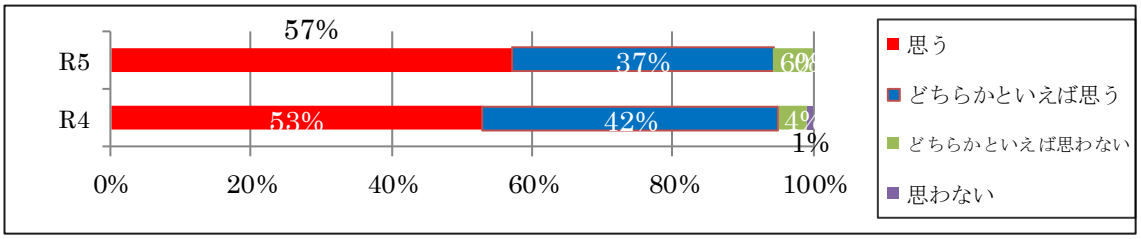
今年度は、6 年生の道祖神祭りの学習をはじめ、地域の様々な「ひと・もの・こと」に触れて学ぶ機会がたくさんありました。また、ボランティア支援センターの協力も得て、様々な学習場面で地域の皆様にご協力いただきました。それらの出会いの全てが子どもたちの学びにつながった 1 年となりました。

英語学習においては、どの学年も ALT のネイティブな発音に触れながら、会話やゲームを通して音声でのやりとりの力を向上させています。また、休み時間の後に 5 分間のイングリッシュタイムを設けて、毎日英語に触れる取り組みをしています。今年度は改めて英語係を中心にイングリッシュタイムの充実に向けて取り組んでいます。今後も英語の学習が楽しい時間となるように工夫していきます。

スキー学習については、全校スキー教室のポール競技（3 年生以上）を、昨年度から子ども自身が技能に合わせてチャレンジの仕方を選べるようにしました。「通常のコースでタイム測定あり」「通常のコースでタイム測定なし」「半分のコースでタイム測定なし」の 3 つから選ぶようにした結果、不安なくポール競技に挑戦する姿が見られました。

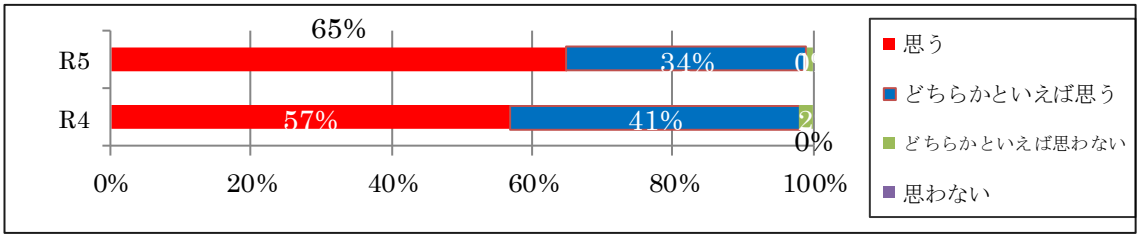
学校評価アンケート【保護者】

① 学校は、教育方針や学級の様子等をおたよりや懇談会等で知らせたり、家庭と連絡をきめ細かく行ったりしていますか。【回答総数 105】



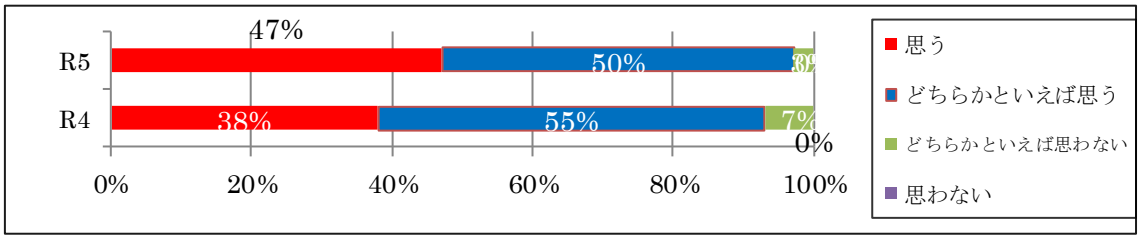
今年度も多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（94%）。来年度も、学校の様子を「学年だより」「広報のざわおんせん」「山毛欅の子　野沢温泉学園だより」「授業参観・懇談会」などでお知らせしていきます。

② 学校は、授業参観や行事等で、保護者や地域の方々が参加や参観をしやすいような開放的な感じがしますか。【回答総数 105】



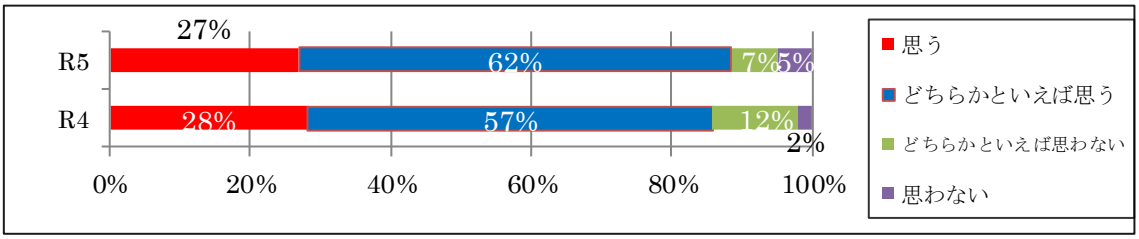
今年度も多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（99%）。今年度は、全校で音楽会を開催して大勢の来賓や保護者の皆様に鑑賞していただきました。また、学園授業研究会の午前中に、授業を公開して保護者の皆様に参観していただきました。来年度も、子どもたちの様子をより多くの皆様に見ていただけるようにしていきます。

③ 学校は、施設設備などの環境整備、登下校や休み中の生活の仕方等で、安全に配慮していますか。
【回答総数 104】



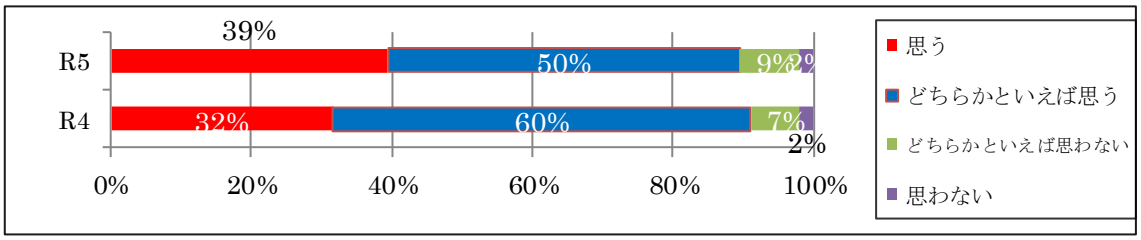
肯定的な回答が 4 ポイント増えました。また、「そう思う」が 9 ポイント増えました。引き続き、安心安全な学校を目指し、引き続き施設の安全点検や通学路の巡視などに取り組んでいきます。保護者の方や地域の方から寄せられた子どもたちへの安全面でのご意見（交通ルールの徹底、不審者対応、雪道の安全など）は、今後も速やかに対応し、子どもたちへも指導していきます。

④ 学校は、いじめや不登校等の発生を早期にとらえ対応し、子どもが安心して登校できるように努めていますか。【回答総数 104】



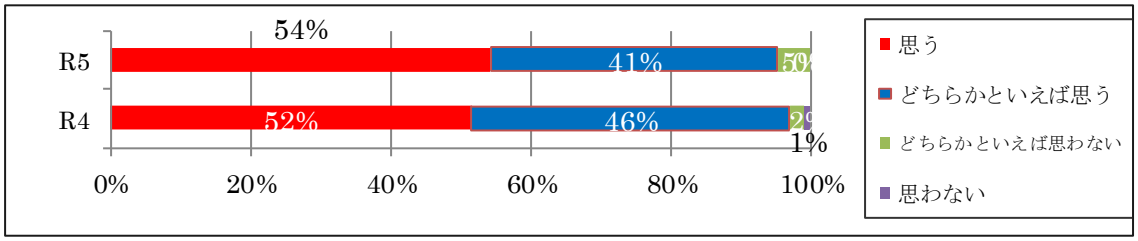
いじめ・不登校への早期対応について、肯定的な回答が、R3 年度 81%、R4 年度 85%、R5 年度 89%と、徐々に増えています。とはいえ、「そうは思わない」という回答もある事実を真摯に受け止め、全職員がチームとなって対応し、子どもや保護者の皆様と共に解決に向かって進めていけるよう、努めて参ります。そのために、いじめや不登校について改善を図っていけるよう職員研修を充実させます。また、保護者の皆様との連絡も密にとり、子どもや保護者の皆様の思いを全職員で理解して、安心安全の学校づくりをして参ります。

⑤ 学校は、命を大切にする心や人権に関する課題について、学ばせようとしていますか。【回答総数 104】



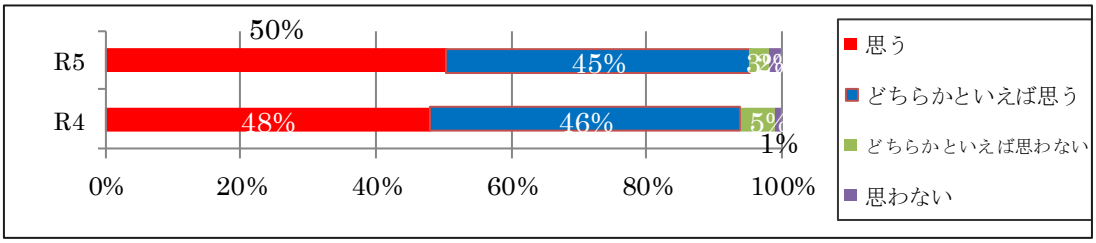
昨年に比べて、肯定的な回答が 3 ポイント下がり、「思わない」と回答したご家庭もありました。引き続き日々の学習の中で扱っている「命や人権」について、子どもたちの心に届く学習となるように、今後も工夫・研究していきます。また、友だちをたたいたり蹴ったりしてしまった子への指導についてご意見をいただきました。そのようなことが起きた場合には素早い対応を心がけ、丁寧な聞き取りで状況を把握し、たたいてしまった子どもへは「たたいてはいけない」という明確なメッセージと共に、状況に応じて粘り強い指導をして参ります。

⑥ 学校職員は、保護者からの相談や要望にきちんと応えていますか。(学級担任以外も含めて)【回答総数 105】



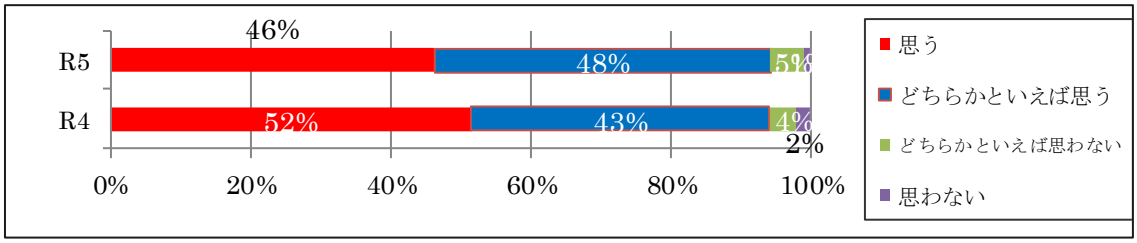
肯定的な回答が 95%で 3 ポイント下がりました。保護者の皆様の学校へのご期待や願いを真摯に受け止め、今後も地域と共にある学校を目指して参ります。一方で、保護者の皆様や地域の皆様の思いは多様であることを理解し、今後も皆様の声を伺い、よりよい学校であるために校内でも常に議論していきます。

⑦ 学校職員は、子どもの話を聞いたり、子どもと遊んだりして、子どもを理解し、適切な指導、評価をしていますか。【回答総数 105】



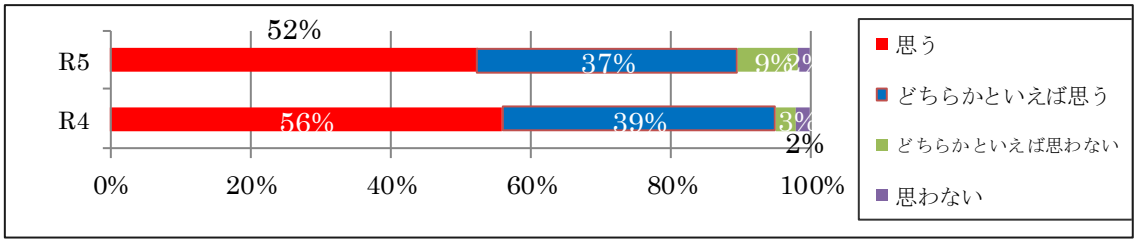
肯定的な回答が R2 年度から、徐々に増えています。本校では、毎週水曜日の掃除の時間を「遊びの時間」と決め、職員も一緒に子どもたちと遊んでいます。今後も、子どもたちと共に活動する学習や遊びの時間を大切にすることで子どもたちを理解し、適切な指導ができるよう努めます。

⑧ 学校職員は、わかりやすい授業をしていますか。【回答総数 104】



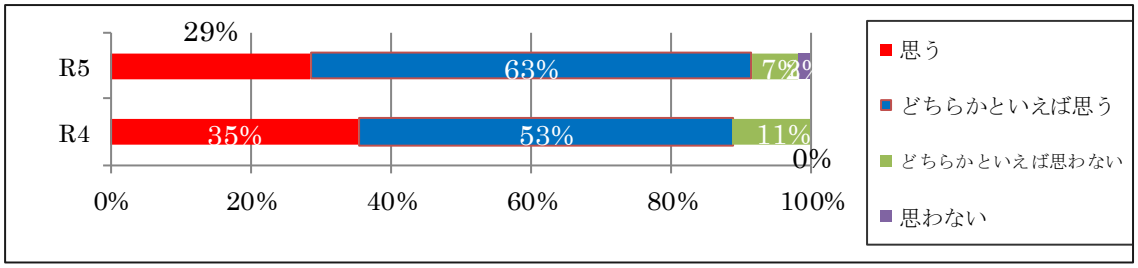
全体的には、昨年同様ほぼ肯定的な回答をいただいたといえますが、昨年度に比べて「思う」のポイントが減り、やや評価が下がりました。学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして？」「わからない」を大切にして、子どもたちみんなで追究できる授業を目指します。また、教職員の業務改善を進め、教材の準備や指導内容の研究に充てる時間を十分確保できるように努め、一人一人の学ぶ様子にも目を向けながら学習支援員とも連携して指導していきます。

⑨ 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。【回答総数 105】



肯定的な回答が昨年よりも 6 ポイント減りました。「どちらかといえば思わない・思わない」と回答したご家庭が増えたことを真摯に受け止め、今後も職員全員で連携し、日々の子どもたちの表情やつぶやきを注視していきます。さらに、保護者の方から情報を密に得ること、SC や村相談員とも連携していくことを引き続き大切にして、悩みがあったり、学校生活に居づらさを感じたりしている子どもに、丁寧に対応をしていきます。また、学校がもっと楽しくなるように、授業改善にも取り組んでいきます。

⑩　野沢温泉小学校の子ども達は、場に応じたマナーやあいさつができますか。【回答総数 105】



肯定的な回答が 4 ポイント上がりました。今年度は、児童会や総合・生活科の学習で地域に出て活動する機会が増え、その度に場に応じた「あいさつ」や「行動」が求められました。比較的元気なあいさつができる本校の子どもたちです。今後も子どもたちと一緒にあいさつの大切さについて考え、実践できるように指導していきます。また、あいさつやマナーは、学校だけではなく家庭や地域も含めた子どもたちの生活全体で育んでいくものというご意見をいただきました。私たち教職員も、保護者の皆様と協力しながら、大人として子どもたちの良い見本となるように努めて参ります。

□　その他、保護者の皆様からいただいたご意見

・教職員の指導についてご意見をいただきました。肯定的なご意見では、「一生懸命子どもに接している」「貴重な体験をさせてもらった」という言葉が大変ありがたかったです。一方で、担任によってルールや指導が異なることへのご指摘がありました。校内で丁寧に情報共有をし、子どもたちが困らないように努めて参ります。

・友だち関係のトラブルに対する学校の対応についてご意見をいただきました。子ども同士のトラブルが発生したときは、できるだけ素早い対応を心がけ、関係する子どもたちから丁寧に聞き取りをして正確な状況把握を行い、対象の子どもには明確な指導を行います。そして、その後の人間関係の様子もしっかり観察し、長期的な指導や支援が必要な場合は、粘り強く対応するように努めています。

・クロススキーの学習についてご意見をいただきました。野沢温泉村が大事にしているスキーを子どもたちが楽しく学べるように、引き続き指導について工夫して参ります。

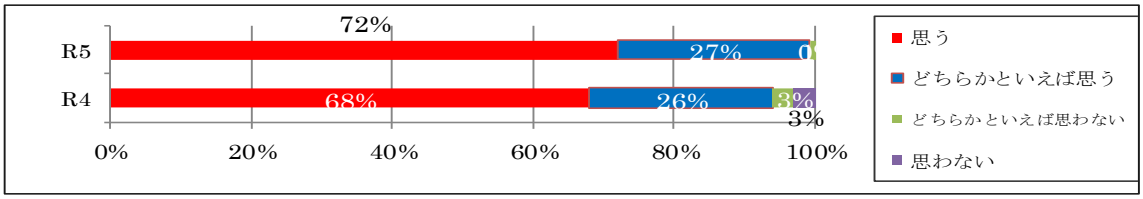
・欠席した学級懇談会の内容についてご意見をいただきました。今後も、必要な内容について学年だよりなどでお知らせしていきます。

・アルペンスキー教室や全校スキー教室の時、スキー場への送迎にスクールバスを活用してはどうかというご意見をいただきました。現在、バス通学の子どもや前坂地区の希望する子どもについては、低学年は行きをスクールバスで、高学年は帰りをスクールバスで移動しています。スキー場近くの子どもは、自分で歩いて行くか、保護者の方に送迎をお願いしています。冬は何かと忙しい時期とは思いますが、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

・これからもご意見やお気づきのことがありましたら、ご連絡いただけたら幸いです。共に子どもたちのために考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

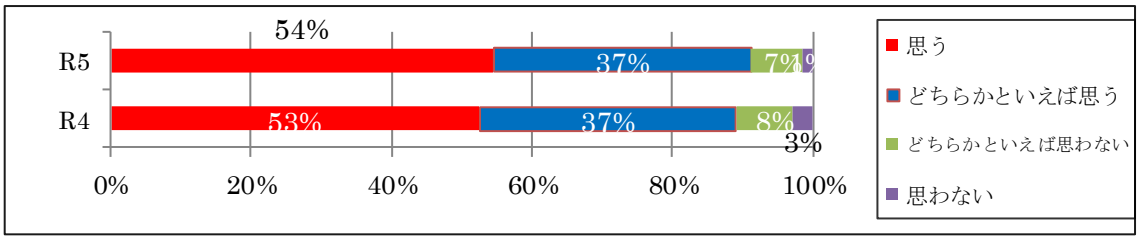
学園評価アンケート【児童】

1【ふるさと学習】　村のことを調べたり、村の人に教えてもらったり、村に出かけたりして、野沢温泉村のいいところがよくわかった。



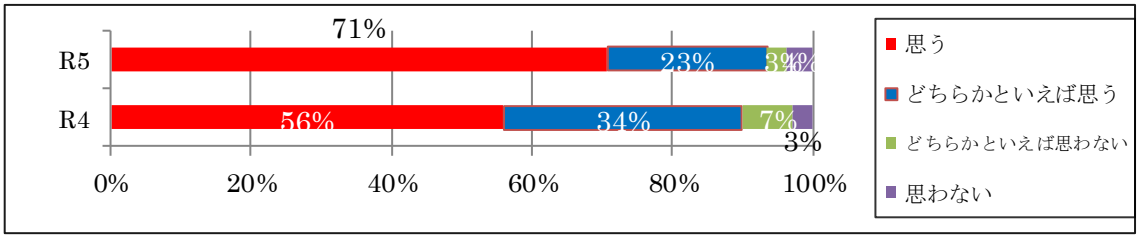
「思う・どちらかといえば思う」と答えた子どもが全員でした。村の様々な場所へ出かけて体験する機会をできるだけ増やし、地域や保護者の皆様に支えられて学習できたことに感謝いたします。今後も、体験を通して「村の人々の思いに触れること」を大切にしながらさらに学習を進めて参ります。

2【英語学習】外国の人や村の人、友だちや先生などと、英語を使ったやり取りを楽しむことができた。



ALT との交流を通して英語でのコミュニケーションを楽しんでいる子どもたちです。「思う・どちらかといえば思う」が今年度も増加しました。今年度はイングリッシュタイムを工夫して英語でのコミュニケーションの楽しさを感じられるように努めてきました。引き続き、工夫して参ります。

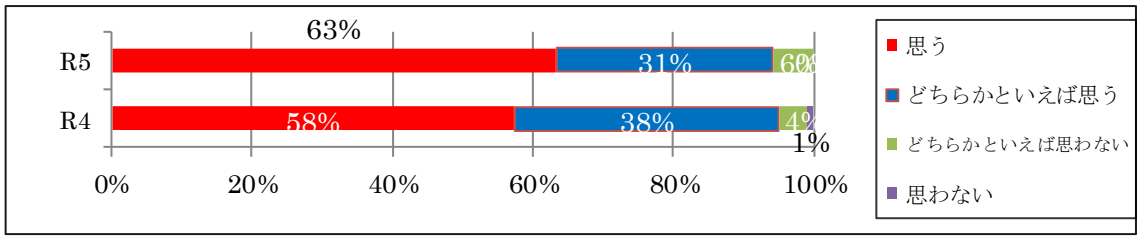
3【スキー学習】スキーを楽しみながら、スキーも上手になってきている。



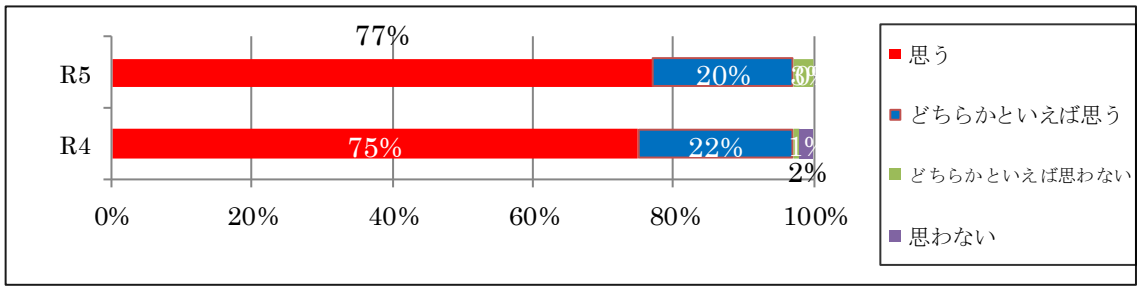
地域の皆様や保護者の皆様のご協力により、スキーを楽しいと感じている子どもたちが昨年度よりも 4 ポイント増えました。スキーが楽しいと感じている子どもたちの一方で、スキーに対して苦手意識のある子どももいることを忘れずに、楽しいスキー授業を大事にしながら、技能レベルに会わせた指導内容を今後も検討していきます。

学校評価アンケート【児童】

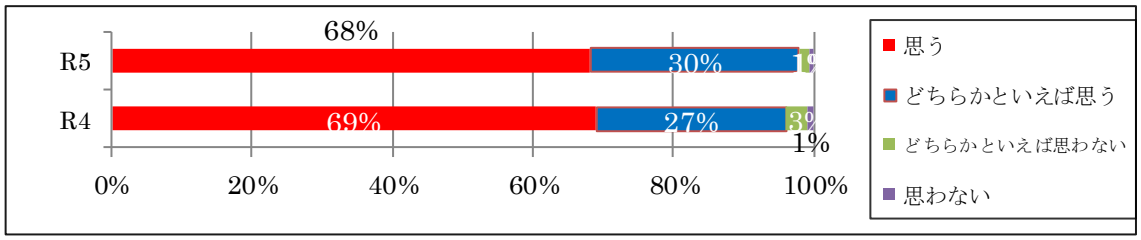
① お家の人は、学校からのおたよりなどで、学校の行事や学級の活動の様子をよく知っている。



② 授業参観や行事などには、お家の人や村の人がたくさん来てくれている。

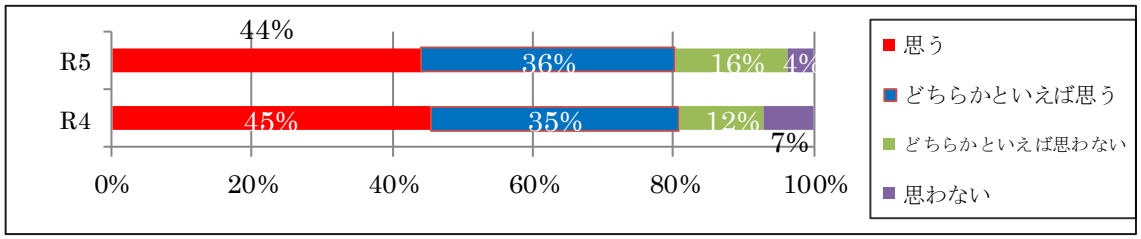


③ 学校の建物や用具などに危険なところは無く、また登下校や休み中の生活でも安全に気を付けている。



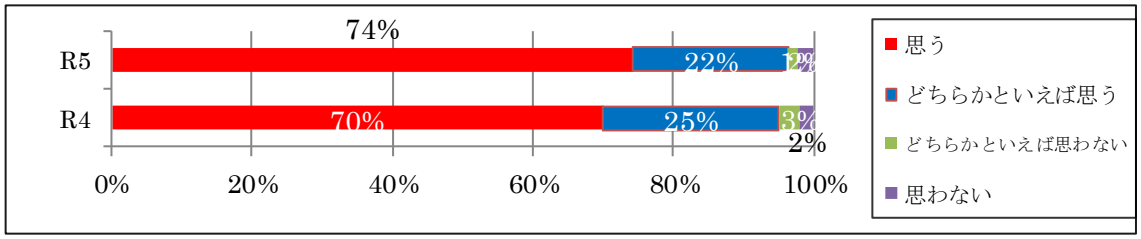
引き続き、学校の様子をご家庭や地域の皆様にお伝えできるようにいたします。また、校内外や下校中の安全に気をつけ、子どもたちのために取り組んで参ります。①②③

④ いじめがあったり、学校に行きたくなかったり、その他のことで悩みなどがあったりするときは、学校の先生（担任先生以外の先生も含む）に相談できる。

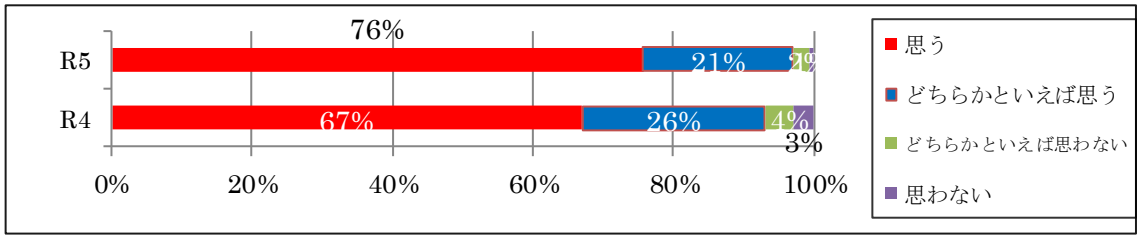


「思う・どちらかといえば思う」がR2年度66%、R3年度74%、R４年度とR5年度は80%でした。学校は、徐々に子どもたちにとって相談しやすい環境になっていると思われます。また、「思わない」と回答した子どもも３ポイント減りました。しかしながら、20%の子どもたちが、何か困ったことがあった時に学校職員に相談しようと思わないと感じています。これは保護者アンケートの結果よりも児童のアンケートの結果のほうが８ポイント多くなっています。このことを大事に受け止め、年２回の「相談週間」だけでなく、普段のかかわりの中でも「子どもと１対１で話す時間」を大事にしていきます。また、教科担任や養護教諭などいろいろな先生に相談できる機会をさらに作ることで、子どもからの声に真摯な対応をして「先生に相談しよう」と思えるような関係性を築いていきます。

⑤　道徳などで、命の大切さや、みんなで仲良くすることの大切さなどについて学んでいる。

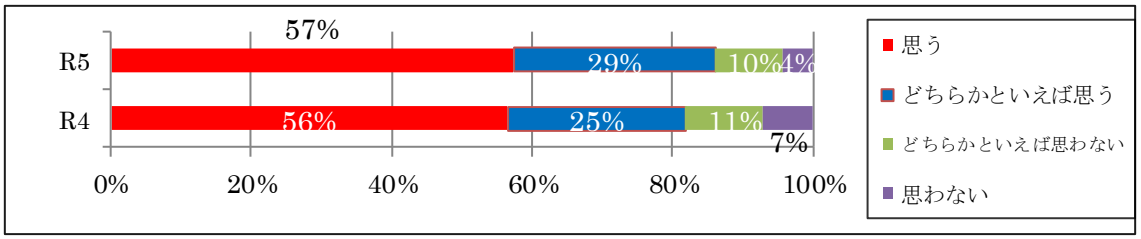


⑥　授業はわかりやすい。もしわからないところがあっても、質問すれば先生や友だちが教えてくれる。



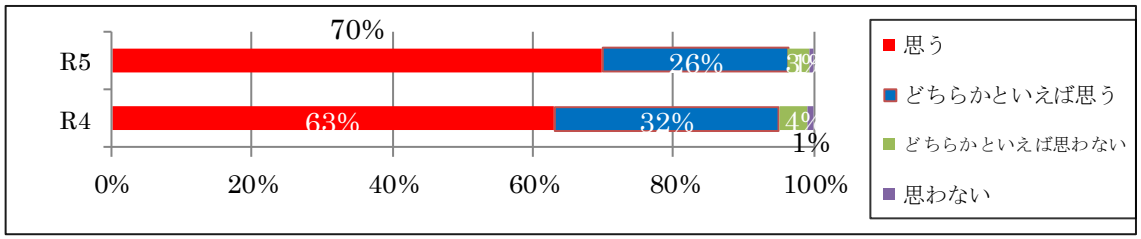
道徳を含めて、多くの子どもたちが「思う・どちらかといえば思う」の回答をしています。今後も、学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして？」「わからない」を大切にして、子どもたちみんなで追究できる授業を目指します。⑤⑥

⑦　学校へ行くのが楽しい。



昨年度に比べて、「思う・どちらかといえば思う」の回答が 5 ポイント増え、14%の子どもたちが「どちらかといえば思わない・思わない」の回答をしています。子どもたち一人一人と関わりをもちながら、保護者アンケート⑨ のように対応し、子どもの願いや悩みに寄り添っていきたいと思います。

⑧　友だちや先生、村の人などに、あいさつをきちんとしている。



昨年度に比べ「思う・どちらかといえば思う」はほぼ同数ですが「思う」が昨年に続いて 7 ポイント増えました。今年度も子ども会が中心となってあいさつ運動を進めてきた成果と言えます。今後も、子どもたちと共に、学級内でのあいさつや子ども会活動のあいさつ運動等に取り組んでいきます。